

[27]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2556617>

出版情報：文學研究. 27, 1940-07-25. 九州文學會
バージョン：
権利関係：



文學研究筆者別索引

(筆者はABC順による、括弧内は輯號を示す)

春日政治

片假名交り文の起源に就いて(一昭七・三)

古訓漫談(二昭七・一〇)

『小學方言講義』より(四昭八・三)

高野山にて窺たる古點本(二七昭九・一)

宇治拾遺物語の一本より(九昭九・一〇)

金光明最勝王經註釋一本の古點について(一四昭一〇・一二)

法王帝説續考(一昭二・一一)

聖語藏御本央掘魔羅經の字音點(三昭一三・一〇)

片山正雄

文學科學概説(一昭七・三)

小島吉雄

明治初期の歌論(一昭七・三)

宗祇の晩年(三昭八・二)

新古今和歌集の撰集態度と撰集事業(五昭八・七)

所謂石津本新古今和歌集に就いて(八昭九・五)

連歌に於ける美的情調(一昭一〇・四、一二昭一〇・七)

春日博士所藏二十一代集中の新古今和歌集に就て(三昭一三・一〇)

後鳥羽院の御文學(二五昭一四・六)

小牧健夫

ヘルデルリナーのエトナ劇斷片(二昭七・一〇)

クライストの『公子ホムブルク』の問題(六昭八・一〇、八昭九・五)

銀の鈴(一一昭一〇・四)

ゲーテの從軍記(一五昭一・四)

ヘルデルリナーの半神觀(二三昭一三・三、二四昭一三・一二)

菜花行(三昭一三・一〇)

松枝茂夫

鏡花縁の話(二六昭一四・一二)

目加田誠

填詞選釋(三昭一〇・一〇)

異國廻りを中心として(一四昭一〇・一二)

雅に就いて(二〇昭一二・八)

白樂天の諷諭詩(二三昭一三・一〇)

幽詩考 附東新考(二五昭一四・六)

中山竹二郎

『貧者の友』ウキリアム・ラングランド(一昭七・三)

イギリス中世の宗教劇(五昭八・七)

イギリス古劇の詩形について(九昭九・一〇)

チヨウサアと現代英語(一三昭一〇・一〇)

散文韻律について(一九昭一二・五)

チヨウサアに於ける措辭的特徴について(三昭一三・三)

ウエイリの英譯『源氏物語』(三昭一三・一〇)

成瀬正一

十八世紀に於ける文藝サロン(二昭七・一〇、三昭八・二)

新舊兩派の文藝論争(七昭九・一)

モンテーニュと東洋の悟道(二六昭一一・七)

野上豊一郎

旅行報告書(一六昭一一・七)

杉田玄白とその周圍の人たち(一九昭一二・五)

小野島行忍

サツカ・パン・ハ・スツタンタ(三昭八・二)

リッ・サン・ハ・ラ(一〇昭九・一二、一一昭一〇・四、一二昭一〇・一〇)

譯梵漫語(三昭一三・一〇)

佐藤 清美

天平八年の遣新羅使一行の歌(一三昭一〇・一〇)
古事記の文藝的性質に關する認識の發展(一七昭一一・一〇)
文藝活動の機構(二昭一二・一一)
本居宣長における道と文藝(二三昭一三・一〇)
語意考の成立過程を示す二三の傳本について(二六昭一四・一二)

佐藤 通次

世界の極性とゲーテの『ファウスト』(一昭七・三)
雅歌(四昭八・三)
生の悲劇性(八昭九・五、九昭九・一〇)
『思ふ』と『考へる』(一〇昭九・一二)
數・性・格と體験(二四昭一〇・一二、一六昭一一・七、一七昭一一・一〇)
『老』と『親』とについて(二一昭一二・一一)
創世神話とわが民族の原體験(二三昭一三・一〇)
『生む』の論理的構造(二五昭一四・六)

進藤 誠一

『ファイガロの結婚』とボーマルシェー(一昭七・三)
ユーリエヌ・ラビツシユの喜劇(六昭八・七)
スクリエプの功罪(八昭九・五、九昭九・一〇、一一昭一〇・四)
コメディー・フランセーズの沿革(二四昭一〇・一二、二五昭一一・四)
十九世紀中葉以後に於ける佛蘭西風俗劇(一八昭一一・二二、二五昭一四・六)
日本に於けるコメディー・フランセーズ(二三昭一三・一〇)

須川 彌作

精神的孤獨感に就いて(一九昭一二・五、二〇昭一二・八)
マレルプ及びその周圍(二四昭一三・一二)

田中 晃

表現の構造(一六昭一一・七)
萬葉歌人の國家思想(一八昭一一・一二)
行爲と哲學(二〇昭一二・八)
日本の現實主義とものゝあはれ(二三昭一三・一〇)
生成の根據としての自然(二五昭一四・六)

豐田 實

日本に於けるシェイクスピア紹介の歴史(一昭七・三)
英吉利漂流邦譯考(四昭八・三)
芥川龍之介とエドガ・アラン・ポオ(七昭九・一)
基督教聖書和譯の歴史(一二昭一〇・七)
故坪内博士の『英文小學讀本』(一二昭一〇・七)
日本とシェイクスピア(一六昭一一・七)
日本に於ける英文法紹介及び研究の歴史(二〇昭一二・八)
俳句と英詩(二三昭一三・一〇)
生活、文化の英語史緒言の一節(二六昭一四・一二)

山内 晋卿

六朝時代の展望(二昭七・一〇)
牟子問題の清算(四昭八・三、五昭八・七、六昭八・一〇)
王鳴盛氏の佛典觀(一二昭一〇・七)

吉町 義雄

『物類稱呼』西國方言索引(一昭七・三)
九州方言の特異性(二昭七・一〇、三昭八・二、五昭八・七)
島津齊彬の『ローマ字日記』と長田穂積の『菊池俗言考』(七昭九・一)
博多仁和加用語に現れた活用一段化趨勢(一〇昭九・一二)
日本語動詞現在時形態論(一五昭一一・四、一七昭一一・一〇、一九昭一二・五、二二昭一三・三、二四昭一三・一二、二六昭一四・一二)
九州方言四段・變格活用動詞分布相(二三昭一三・一〇)